

当院にて過去に抜歯術を受けられた方へ

当院では新規接着剤を用いた低侵襲口唇口蓋裂治療のための基礎的研究（多施設共同研究）に参加しております。この研究は歯科矯正治療等に用いられる歯科用接着剤の新規開発のために多施設で行われる共同研究で、東京大学医学部附属病院は主任研究施設として参加致します。

【対象となる方】

2010年4月1日～2018年3月31日の間に本院口腔外科外来で抜歯が必要と診断され、抜歯術を受けられた方

【研究の意義】

歯科矯正治療では歯科用の接着剤を用いて装置の接着を行い、歯の移動を行います。治療終了後には装置は全て除去いたしますが、現在用いられている接着剤は除去の際にその硬さのため歯の表面を損傷する可能性が考えられ、また痛みを伴うことも少なくありません。硬さの変化調節が可能な歯科用接着剤の開発はそのような問題の解消に貢献できるのではないかと考えられます。

【研究の目的】

抜去歯表面に新規開発を行っている歯科用接着剤を用いて歯科矯正用装置の接着を行い、その接着性の評価を行うことを目的としています。

【研究の方法】

これまでの診療で抜歯術を受けられた方の抜去歯の多くは個人情報との突合せが不可能な状態で保存されております。本研究はこれらの抜去歯を用いて歯の表面に新規接着剤の接着力の評価を行う研究です。

平成 28 年 3 月

【研究機関名】

研究統括医師：東京大学医学部附属病院 顎口腔外科・歯科矯正歯科 助教 井口隆人
東京大学医学部附属病院は主任研究施設に登録しています。
共同研究施設：大阪大学大学院理学研究科 基礎理学プロジェクト研究センター

【問い合わせ等の連絡先】

東京大学医学部附属病院顎口腔外科・歯科矯正歯科 助教 井口隆人
住所：東京都文京区本郷7-3-1
電話：03-3815-5411（内線 37680） FAX：03-5800-6832
Eメールでのお問い合わせ：inokuchit-ora@h.u-tokyo.ac.jp
医療機関名 東京大学医学部附属病院
診療科名 顎口腔外科・歯科矯正歯科 診療科責任者名 高戸 毅